

### 第3回ワークショップにおけるアイデアのまとめ

第3回ワークショップでは、整備イメージ（案）をふまえ、4つの論点について意見交換を行い、以下のようなアイデアが出されました。

論点	確認できたこと	いただいたご意見
プライバシー 配慮のための 植栽のあり方 (A 区間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備イメージ(案)でよいが、景観に配慮するとともに、隣接するマンションの方などに説明しながら進めるのがよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場ができてから、シートをはるといった配慮をしたらどうか。</li> <li>周辺から見ても良い景観になるようデザインする。</li> </ul>
緑地・小広場の 使い方 (B 区間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>なるべくモノはつくらず、できるだけシンプルな空間とする。</li> <li>自然を感じさせる空間にする。</li> <li>菜園は端に寄せて、パブリックスペースとしての広場を広く確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災倉庫は、目立たないようなデザインにしたい。</li> <li>4m 通路を狭くして、緑地・小広場のデザインを工夫できないか。</li> <li>車椅子でも楽しめるよう、ユニバーサルデザインに配慮してほしい。</li> </ul>
自転車の通行 ルールや しつらえ (全体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者が安全に歩けるように検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩車分離がよい(電動アシスト自転車は、重量があり押し歩きが困難)。</li> <li>歩行者(特に高齢者)の安全確保のため、フェンス等で歩車分離してほしい。</li> <li>舗装の色で分離する。</li> <li>B 区間内に相互通行の自転車道ができれば安全だと思う。</li> </ul>
歩行者の動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>立体緑地の両側(緑地・小広場側、下北沢駅側)に階段を設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地・小広場へ下りる階段については、見せ方に工夫が必要である。</li> </ul>

### 全3回ワークショップの成果と今後の課題

全3回のワークショップの成果と今後の課題は、以下のとおりです。

	成果	今後の課題
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんながつながる緑の庭」をコンセプトとして整備します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植栽の維持管理について</li> </ul>
A 区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>立体緑地の通路は、ゆるやかな曲線基調とし、根元から立ち上がる植栽を配置します。</li> <li>周辺住宅のプライバシーに配慮し、住宅の開口部に面する部分は植栽を密にする等の工夫を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な植栽やしつらえについて</li> <li>自転車の通行ルールについて</li> </ul>
B 区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>かつての谷戸の地形を活かした広場とします。</li> <li>シンプルな空間とします。</li> <li>立体緑地から緑地・小広場へ多方向に下りる階段を配置します。</li> <li>防災倉庫は植栽で修景します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地・小広場の利活用や管理、運営方法について</li> </ul>
C 区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>通路沿いには植栽して、住環境に配慮します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の通行ルールについて</li> </ul>

### 今後の予定

来年度は、今年度の検討結果をふまえて、詳細な設計段階に入ります。具体的なしつらえや、施設の利用や管理、運営方法について、地域の皆さまとの意見交換の場を設けることも検討していきます。

【お問い合わせ先】  
世田谷区北沢総合支所街づくり課  
〒155-8666 世田谷区北沢 2-8-18 北沢タウンホール 6 階  
電話 03-5478-8031 ファックス 03-5478-8019

区のホームページでも、  
小田急線上部利用の情報を公開しています。  
世田谷区 小田急線上部利用の街づくり  検索

# 北沢デザイン通信

号外

平成 28 年 3 月

～思いつながら、人つながる、街つながる～

平成 28 年 (2016 年) 3 月発行  
世田谷区北沢総合支所街づくり課  
拠点まちづくり第一課

## 下北沢駅西側エリアの検討ワークショップを開催しました

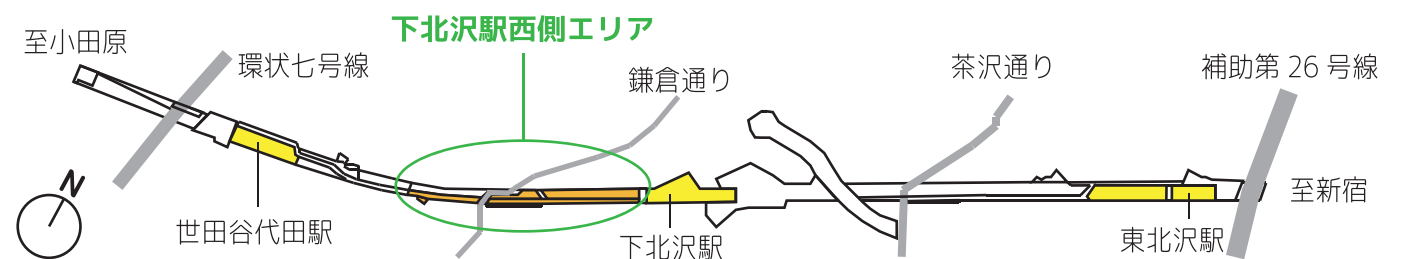
### ワークショップの目的

世田谷区では、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)連続立体交差事業等による鉄道地下化に伴い生じる跡地利用(以下、「上部利用」という)の検討を進めてきました。平成 27 年 8 月に、「世田谷区小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)上部利用計画」をまとめるとともに、上部利用計画の内容を紹介する「オープンハウス(パネル展示等)」や、「北沢デザイン会議」を開催するなど、その内容を広く発信してきました。

今回、上部利用のうち下北沢駅西側エリアを対象として、区の整備プラン(緑地や通路等)を検討することを目的に「下北沢駅西側エリア緑地・通路検討ワークショップ」を開催しました。

### 対象地(下北沢駅西側エリア)の概要

ワークショップで検討対象とした区域は、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)上部利用のうち、下北沢駅の西側エリア(約 300m)です。



### ワークショップの経過

ワークショップは、平成 27 年度に全 3 回、開催しました。

<p><b>第 1 回</b> 「思いや考えを共有する」 下北沢駅西側エリアの緑地や通路に対する皆さんの思いや考えを共有しました。</p> <p>平成 27 年 10 月 17 日(土) 参加者 45 名</p>	<p><b>第 2 回</b> 「アイデアを出し合う」 エリア全体の整備コンセプトについて確認し、3つの整備プラン(案)をもとに、意見交換を行いました。</p> <p>平成 27 年 11 月 28 日(土) 参加者 46 名</p>	<p><b>第 3 回</b> 「整備イメージをつくる」 これまでの検討をふまえて作成した整備イメージ(案)について、意見交換を行いました。</p> <p>平成 28 年 2 月 6 日(土) 参加者 38 名</p>
--	---	---

# 第1回下北沢駅西側エリア緑地・通路検討ワークショップの成果

## 開催概要

日時：平成27年10月17日（土）14:00～16:30  
 場所：北沢タウンホール11階 らぶらす研修室3・4  
 参加者：45名

<内容>  
 下北沢駅西側エリアの緑地や通路に対する皆さんの思いや考えを共有しました。

### ●プログラム

- 1 開会
- 2 施設概要
- 3 地域の思いを聞く
- 4 ワークショップ  
「思いや考えを共有する」
- 5 閉会

## 施設概要

施設の概要及び区間の基本的な条件等について説明し、確認しました。



### 【通路】

日常的な利用とともに、災害時には緊急車両の通行や防災活動ができるよう、連続する通路とします。通路沿いにはみどりを配置して住環境に配慮します。

### 【緑地・小広場】

人々の豊かなみどりの癒し空間の拠点とします。

### 【立体緑地】

南北の高低差、駐輪場の上部空間を活かした立体緑地を整備し、回遊性や歩行者の安全性の向上を図り、新たなまちの魅力を創出します。

## 地域の思いを聞く

地域でまちづくりの活動に取り組まれている方々に、この場所に対する思いをお話いただきました。



### ■NPO法人グリーンライン下北沢代表 小林正美氏

NPO法人グリーンライン下北沢のこれまでの活動経緯や、パリ・ニューヨークなどの先進事例についてご紹介いただくとともに、下北沢駅西側エリアのデザインや利用について、アイデアをいただきました。

- 線路や踏切の記憶など、下北沢らしいアイデアをデザインの中に残せないか。
- 鉄道事業者用地と公共用地の境目が無いデザインにしたい。
- 区民のための貴重なスペースにしたい。

### ■下北沢街づくり懇談会・北沢2丁目協和会会長 玉利久江氏

地域の町会長の立場から、緑地や通路に対する希望や提案についてお話しいただきました。

- 自転車・オートバイの放置問題に悩まされている。駐輪場の設置は長年の地元の願いである。
- プライバシー、土埃等の問題は近隣住民が納得するものにしてほしい。
- 子どもからお年寄り、誰もが安心して散歩できる環境づくりが必要である。
- 施設整備後の利用、マナーやモラルの向上についての課題も話し合いたい。



### ■下北沢街づくり懇談会・しもきた商店街振興組合理事長 柏雅康氏

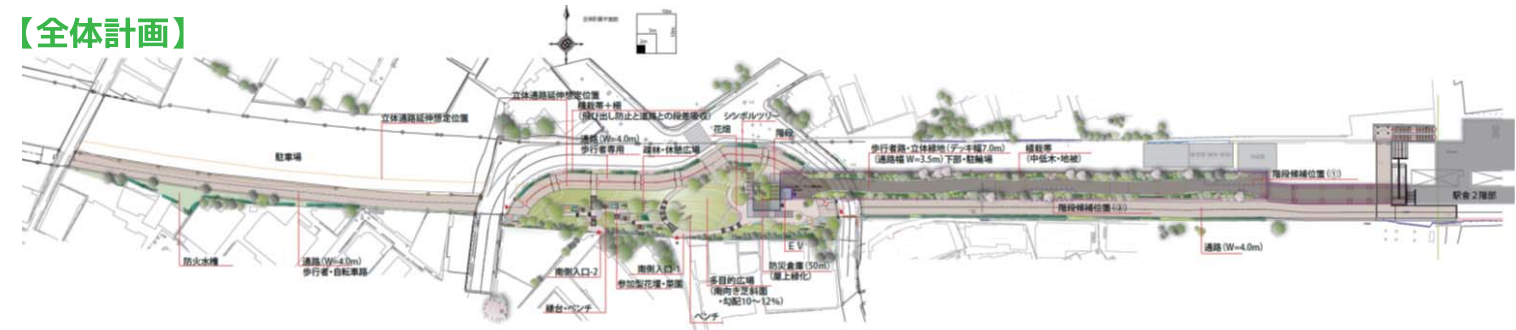
下北沢駅周辺の現状や課題、緑地や通路に対する希望や提案についてお話しいただきました。

- 新しい魅力で新しい人々を呼び込む街、子育てをしやすく、高齢者に優しい街にしたい。
- 下北沢駅から立体緑地へまっすぐに行けるようにしてほしい。
- 駐輪場の上を立体緑地にする発想は他の街にはない。C区間にもあるとよい。
- 演劇、音楽、児童向け等、専門蔵書の図書館などは魅力向上につながる。

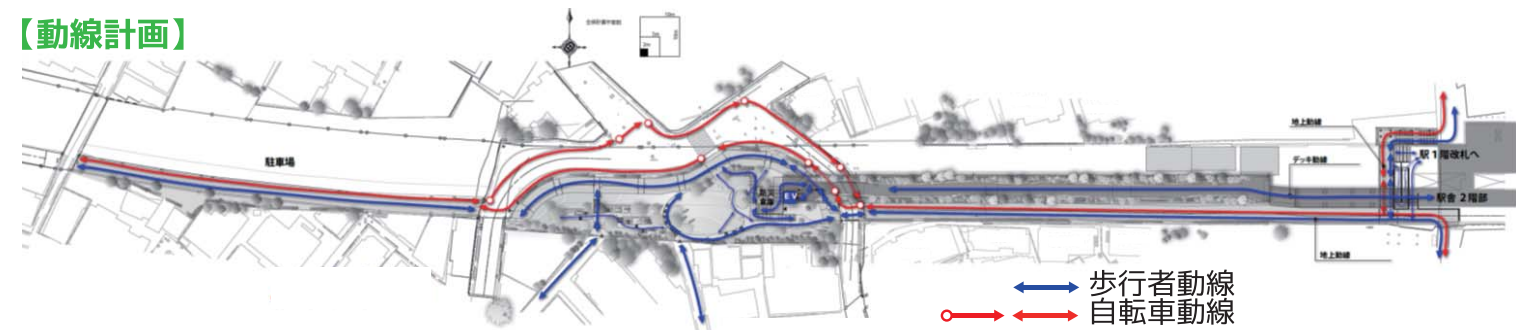


## 整備イメージ（案）

### 【全体計画】



### 【動線計画】



## コンセプト“みんながつながる緑の庭”

### 【みんながつくる緑の庭】

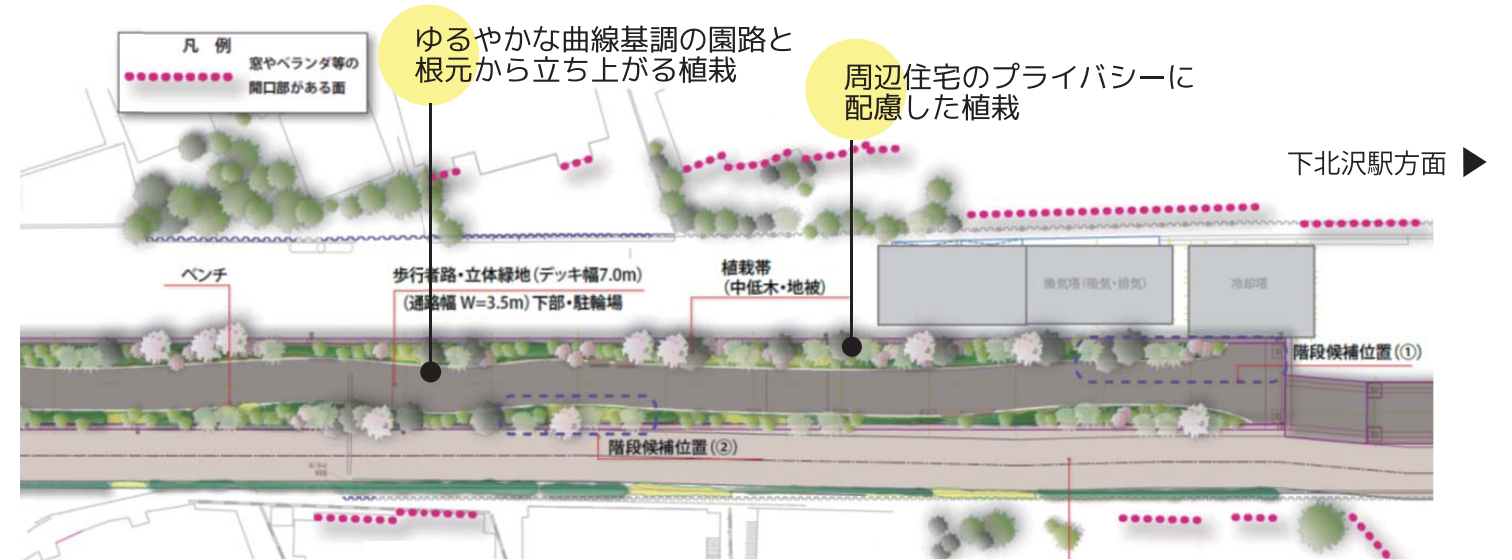
回遊のきっかけとする装置としての緑／みんなで守り育てる草花で多様な彩と表情を付加する庭

### 【まちの記憶を継承する庭】

商業空間、文化の発信地、住宅地等の多様な表情と呼応しながら、まちの記憶を継承する庭

### 【みんなが交流する庭】

イベントもできる空間（文化活動の場）を確保し、多世代が交流する庭／みんなが使いこなす庭



### 主要な施設のイメージ



緑地・小広場

階段・エレベーター

立体緑地と通路

立体緑地

※ワークショップで使用したVR（バーチャルリアリティ）映像より抜粋

# 第3回下北沢駅西側エリア緑地・通路検討ワークショップの成果

## 開催概要

日時：平成28年2月6日（土）14:00～16:30  
 場所：北沢タウンホール11階 らぶらす研修室3・4  
 参加者：38名

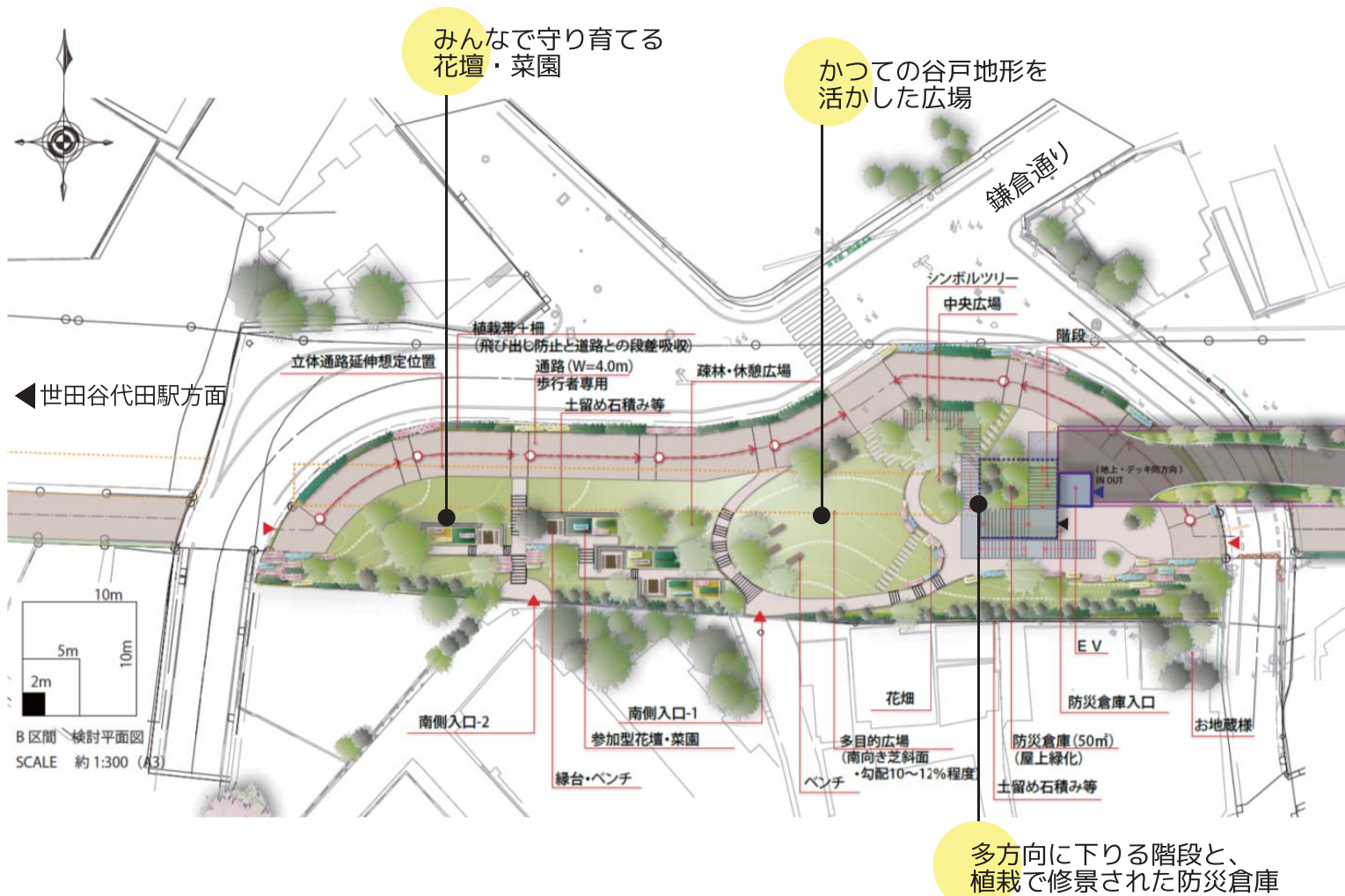
<内容>  
 これまでの検討をふまえて作成した整備イメージ（案）について意見交換を行いました。

### ●プログラム

- 1 開会
- 2 第2回ワークショップの振り返り
- 3 ワークショップ  
「整備イメージをつくる」
- 4 閉会



## 緑地・小広場と立体緑地の整備イメージ（案）



## グループワーク「思いや考えを共有する」

グループワークでは、「こんな場所にしたい」「こんなことができたらいい」「こんな施設や植栽がほしい」「こんなことに気をつけたい」といった点について、思いや考えを共有しました。



## 第1回ワークショップにおけるアイデアのまとめ

第1回ワークショップの主なアイデアは以下のとおりです。期待する活動やデザインに関するアイデア、配慮事項等について、アイデアが出されました。

テーマ	主なアイデア	
期待する活動	散歩・健康づくり	散歩・ジョギング
	にぎわい	アート展示／ミニライブ マルシェ／カフェ
	休憩・交流	高齢者の休憩（ベンチ等を配置）／落ち着ける場所 多世代の交流／集まれる空間
	子育て・遊び場	安心安全な子供の遊び場（公園・芝生広場） 多様な住民参加活動のための空間 （緑にかかわる活動を中心に）各種体験活動の場
デザインに関するアイデア	自然を感じる空間	緑豊かな空間／環境負荷の低減 構造物をツタで修景
	街の記憶	シモキタらしい空間／高低差を活かす 地域の歴史（鉄道・かつての地形や土地利用等）を意識したデザイン
	街の風景	圧迫感のないデザイン
	空間の変化	時間とともに変化し、味わいのある自然素材
	市民の関わり	地域の人に参加できるしくみ（緑の活動など）
配慮事項	ユニバーサルデザイン	子どもや高齢者にやさしい空間
	プライバシー・騒音	プライバシー保護／騒音の緩和 周辺の住環境へ配慮し、暮らしの質を高める：緑豊かな環境／視線制御等
	アクセスしやすい空間	アクセスしやすい空間（周辺道路とのアクセス、駅と通路のアクセス）
	安全・安心	安全・安心への配慮（自転車歩行者分離／通行ルール設定等）
	空間の統一性	空間全体の統一性確保

# 第2回下北沢駅西側エリア緑地・通路検討ワークショップの成果

## 開催概要

日 時：平成 27 年 11 月 28 日（土）14:00～16:30  
 場 所：北沢タウンホール 11 階 らぶらす研修室 3・4  
 参加者：46 名

<内容>  
 エリア全体のコンセプトを確認し、3つの整備プラン（案）をもとに意見交換を行いました。

### ●プログラム

- 1 開会
- 2 第1回ワークショップの振り返り
- 3 ワークショップ  
「アイデアを出し合う」
- 4 閉会

## 整備コンセプトと3つの整備プラン（案）

### 北沢デザインガイド\*のコンセプト

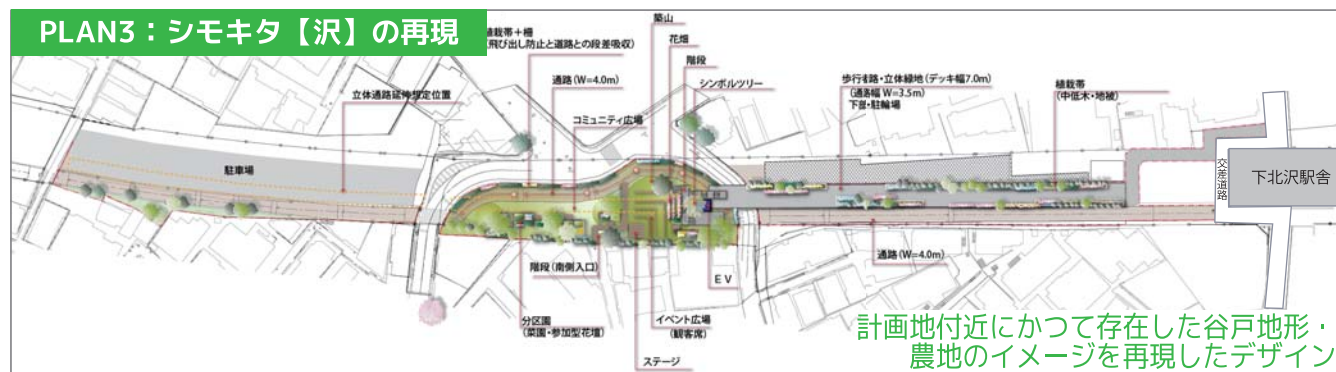
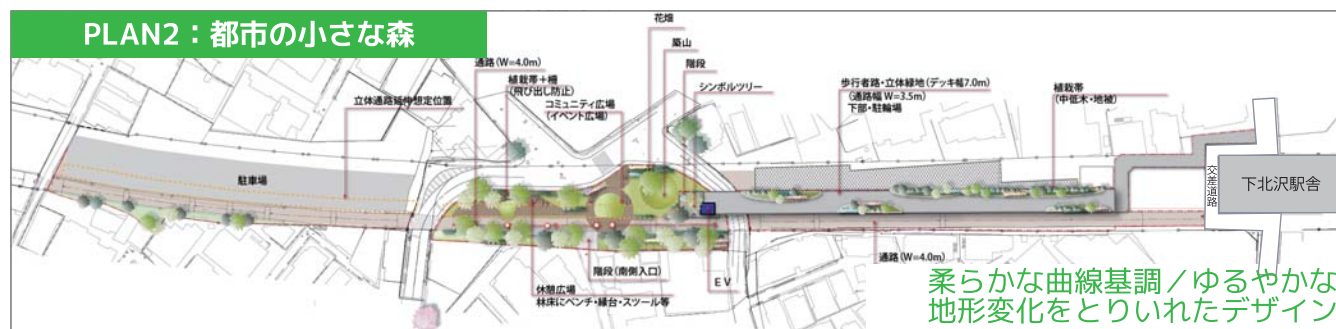
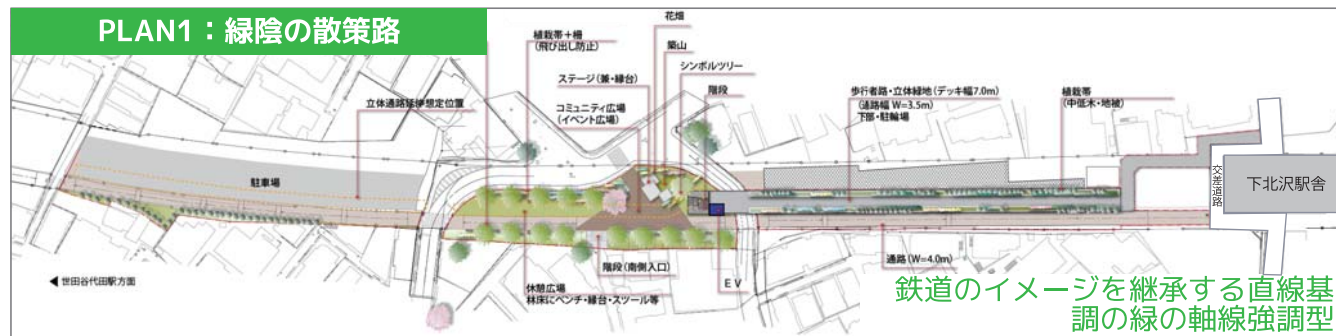
- 1 四季を感じ、みんなにやさしい空間が、多様な人々をつなぐ
- 2 街の記憶や風景を映し、3駅につづく新たな路が、私たちの地域をつなぐ
- 3 みんなで創り育て、ゆるやかに変わる場所が、時を超え心をつなぐ

### 第1回ワークショップで出されたアイデア

- 期待する活動：散歩・健康づくり、にぎわい、休憩・交流、子育て・遊び場
- デザイン：自然を感じる空間、街の記憶・風景、空間の変化、市民の関わり
- 配慮事項：プライバシー、騒音、ユニバーサルデザイン、アクセス、安全・安心、空間の統一性

### コンセプト“みんながつながる緑の庭”

【みんながつくる緑の庭】【まちの記憶を継承する庭】【みんなが交流する庭】



\*「北沢デザインガイド」とは、「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」（平成 27 年 8 月策定）における上部利用（区施設）全体のデザインに関する指針です。

## グループワーク「アイデアを出し合う」

グループワークでは、整備プラン3案をふまえ、以下の論点に基づいてアイデアを出し合いました。

- A 区間：立体緑地の園路や植栽の配置/フェンスの素材や形状、高さ 等
- B 区間：緑地・小広場の広場や通路、植栽の位置や形状/階段の形状や方向/管理運営 等
- C 区間：通路の境界のしつらえ 等



## 第2回ワークショップにおけるアイデアのまとめ

第2回ワークショップで出された主なアイデアは以下のとおりです。

【凡例】●：確認できたこと（整備イメージ（案）にアイデアが反映されたもの）  
 ●：複数のアイデアが出されたもの / ●：今後の課題 / ●：その他

区間	テーマ	意見の方向性
A区間	整備イメージ	●曲線的なイメージがよい
	境界の遮蔽	●緑でプライバシーへの配慮 ●圧迫感が出ないように ●フェンスは避けたい、植栽がよい ●フェンスと植栽の複合 ●半透明なもので遮蔽 ●金属は避ける ●防犯面に配慮、開放性も必要
	立体緑地の植栽	●足元から立ち上がる植栽 ●武蔵野の自生種を使う ●中低木 ●統一感、季節感
	自転車との折り合い	●自転車と共存（自転車押し歩き、舗装の工夫等） ●歩車分離 ●色分けだけでは不十分 ●歩行者専用
	利用のルール	●騒音に対するルールが必要 ●利用規制
	立体緑地のデザイン	●圧迫感のない・一体的な・目を引くデザイン ●駐輪場の目隠しを ●立体緑地の形状
B区間	整備イメージ	●地形になじむイメージがよい ●プラン3がよい ●広場があるとよい
	活用	●畑や菜園、植樹 ●森・緑の空間、シンボルツリー ●樹木を植える ●憩い ●ベンチで休憩 ●広場 ●子どもの遊び場 ●ステージを広く ●ファニチャー少なく ●パーゴラ ●イベント、アンテナショップ、運営団体 ●にぎわいは不要
	プライバシー・騒音	●南側住宅地のプライバシーへの配慮 ●騒音の問題
	利用のルール	●夜間利用等の規制 ●自転車は通行禁止
	階段	●階段のデザインの工夫
	土地の記憶	●お地蔵さんを残す ●川の記憶を活かす ●鉄道の記憶を残す
	交通安全への配慮	●交通安全への配慮が必要 ●鎌倉通りとの立体的な交差
C区間	境界部のすりつけ	●ゆるやかにすりつける
	鎌倉通りとの調整	●鎌倉通りとの調整が必要
C区間	駐車場	●駐車場を目立たせない工夫